

【講習No.3】

講習名	土木部技術職員の仕事について		
講師名	ふじつか いちろう 藤塚 一郎	所属	なし
講師略歴	<p>経歴 昭和53年(1978年)新潟県土木部技師採用</p> <p>令和3年3月 新潟県退職(再任用の5年を含む) ムラタ興業(株)入社</p> <p>令和6年3月 (株)北陸ムラタ(旧 ムラタ興業(株))退社</p> <p>資格 なし</p>		
講習実績	<p>実績 令和2年度に下越地区現場実務実践研修の座学として3回実施 (参加者計10名(現役県土木職員))</p> <p>令和3年度に3回実施(三条、小千谷、与板) (参加者計9名(現役県土木職員))</p>		
講習概要	<p>○ 土木部技術職員の仕事について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本の国土と土木技術の役割 (憲法上の位置付け) <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政職員としての土木技術者の仕事</li> <li>・業務内容と手順 (新規事業個所の立ち上げ手順)</li> </ul> </li> <li>● 土木技術を現場で実践するとはどのようなことか <ul style="list-style-type: none"> <li>・法的根拠に基づく事業</li> <li>・各種構造令</li> <li>・使える構造物(安全な構造物)とは</li> <li>・時代の変化に対応した土木部技術職員の業務</li> <li>・維持管理の意義</li> <li>・現場における着目点(コンクリート、土、水) (次に何が起きるかを推測できること)</li> <li>・住民との付き合い方</li> <li>・ストック効果とフロー効果</li> <li>・判断力の涵養と業務に取り組む姿勢</li> </ul> </li> </ul> <p>(令和元年以前には、インターンを対象とした同様の内容で研修を数回行った。その内容を補強して、土木部採用直後2～3年の職員向けに作り直したもの)</p>		
連絡先	<p>(所属先TEL)</p> <p>(携帯電話) 090-5768-9996</p> <p>(E-mail)★ ※メールアドレス取得次第掲載します。</p>		
備考			